

追加回答案での質疑・再質疑等回答の経緯表

※再質疑や再々質疑が多い場合、経緯を残すために、この様式でやり取りする場合があります。

表 1

建築物の名称	〇〇〇〇新築工事
構造計算適合性判定受付番号	第 ××××号
建築物の番号	1

表 2

※再質疑回答は、「赤」、再々質疑回答は「青」で記載して下さい。

該当図書名	申請書に不備、不明確な点が認められる事項	回 答	該当図書 該当頁等	備考
図面 S-6	① 丸鋼ブレースの JIS 規格を記載して下さい。	構造図 S-6 を差し替えます。	S-6	■補正 □追加
	[再質疑] JIS 5540 ではありませんか。	修正しました。	S-6	■補正 □追加
図面 S-8~10	② 軸組図に GL 下の RC 部材(基礎、地中梁)を記載して下さい。	構造図 S-7, 8, 9, 10 を差し替えます。	S-8~10	■補正 □追加
	[再質疑] X1, X8 軸組図の地中梁レベルを明記して下さい。	記載しました。	S-8, 9	
図面 S-8, 9 S-13-2	③ 7) 底の方杖が、S-8, 9 図では「V2」、S-13-2 では「V1」となっており、不整合です。 i) 部材リストに方杖がありません。	V2 として訂正しました。 構造図 S-6, 8, 9, 13-2 を差し替えます。	S-8, 9 S-13-2	■補正 □追加
		構造図 S-6 を差し替えます。	S-6	■補正 □追加
	[再質疑] 修-P7-1 は H-125, 図面は H-150 となっています。	修正しました。	P7-1	■補正 □追加
	[イ]再質疑 A) B2 については質疑 22 の回答がありません	添付しました。	P6-2	■補正 □追加
計算書 P. 7-1	④ 7) CG1 の応力算定に関し、応力の値が小さくはありませんか。(斜材の応力は、もっと大きくなると思われれます。それに伴い、接する柱等の断面算定にも影響してきます。) i) 1G の安全確認をされていないようです。 [再質疑] 追加計算書 P 7-1 以降に関し、フレームの変形量が著しいようです、どう考えられていますか? [再々質疑] 底部分と連続する梁部分について、トラス梁としたラーメン架構の解析が必要ではありませんか。	柱脚のパネを考慮し、再計算の結果、底の取り付く柱、方杖、CG1 は、部材変更を行いました。計算書 P7-1~13、P8 を差し替えます。	修 P7-1, 2 追 P3-13 修 P8	■補正 ■追加
		確認を行い、計算書 P8 を差し替えます。 CG1, G2 の梁と柱を固定とし(他端はピン)再検討しました。	修 P8 P7-1~P7-13	■補正 □追加 ■補正 ■追加
				□補正 □追加
計算書 P. 20-2	⑤ 許容地耐力の算定に関し、各数値の計算根拠を記載して下さい。	算定を修正したものを添付しました。	修 P 20-2 追 P20-3	■補正 □追加

	(ic、iγ、iq等の説明をお願いします。)			
	[再質疑] 許容地耐力の算定に於いて、今回傾斜角を無視した理由について説明してください。 また、Df=0の場合の値は1/3に低減されていないようです。基礎の検討に用いた許容支持力の値と整合も図ってください。	傾斜角は、A棟に記述しました。 Dfは、1/3しても100KN/m ² 以上となり、安全側となります。		<input type="checkbox"/> 補正 <input type="checkbox"/> 追加
	[再々質疑] 回答でN=32は平均値とありますが、どういう平均をされているのですか。 玉石混じり砂礫層を支持層とされていますが、礫当たりのN値の可能性はありませんか。			<input type="checkbox"/> 補正 <input type="checkbox"/> 追加 <input type="checkbox"/> 補正 <input type="checkbox"/> 追加
計算書 不備	⑥ 鉛直ブレースの検討書が不明です。(A棟のみ)	添付します。	P28. 29	<input type="checkbox"/> 補正 <input type="checkbox"/> 追加
	添付されていません。	添付します。	P28. 29	<input type="checkbox"/> 補正 <input checked="" type="checkbox"/> 追加

■質疑回答後の追加再質疑

図面不整合 S-9, 10, 12	⑦ 階高が図面により不整合です。 添付資料1参照	修正しました。	S-12	<input checked="" type="checkbox"/> 補正 <input type="checkbox"/> 追加
S-11, 12, 13-2	⑧ ブレースのGPLを銅管に割り込んでいますが、S-11で図示している部分の溶接はどの様に行いますか、可能ですか。教えて下さい。 添付資料2参照	回答⑦で説明しています。		<input type="checkbox"/> 補正 <input type="checkbox"/> 追加
P17-1-2	⑨ コーン状破壊の検討が有りません。	C)で行っています。	修P17-2	<input type="checkbox"/> 補正 <input type="checkbox"/> 追加

■再質疑回答後の追加再々質疑

計算書不備	⑩ 回答の追加計算書に記載の、朱書きの質疑Noが整理されていないではありませんか？No22, 29, 31等…質疑にない番号はどこから来たのですか？ご確認ください。			<input type="checkbox"/> 補正 <input type="checkbox"/> 追加
計算書不備	⑪ 今回柱脚のボルト本数が減少し、バネ定数が下がっていますが、下げた理由及び安全性に対する見解を記載願います。			